

# 紙面ひろけたデー

2025年7月 発行

「一羊会だより」で紹介しきれなかった話題を集めてお届けします。

『あとりえすずかけ夏の雑貨展』 2025年7月4日～8日 開催 ※6日はお休み

題字と絵 森本 拓巳／写真と文 神田 浩平

2025年度入職

## 新任職員さんインタビュー

入職して2カ月たった新任職員さんたちの現在についてお聞きしました。



### すずかけ作業所 あおぞら班所属

マンションの清掃、資源回収、除草作業を利用者さんと一緒に行っている。

- A1 利用者さんに助けてもらっていることが多いと感じます。作業中、背の届かないものや重たいものに困っていたら助けてくれたり、朝元気に「おはよう」と言って元気をくれたり、日々の会話を笑顔にさせてくれたり…、毎日たくさん助けてもらっています。

A2 私の運転を楽しみにしてくださっていた利用者さんがいました。最近作業現場へ運転していくようになったのですが、その際に「おお! やつとかおめでとう!」と笑顔で手を叩いてくれました。

A3 利用者さんの人生の一部分に関わらせてもらっているので、作業所に来るのが楽しいと思ってもらえるように日々の関わりを大切にしていきたいです。何が好きで何が苦手なのか何を思っているのか探りながら楽しい時間を利用者さんと一緒に増やしていきたいです。

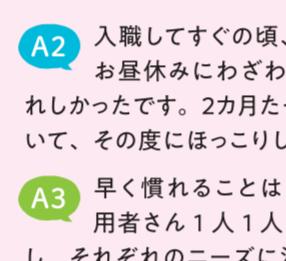
A4 食べることが好きなので、食べたいものを見たいときに食べに行きます。ラーメンとお寿司が好きなので、大体は2択になります。何の予定もない日は、自覚ましをかけずに好きなだけ寝て過ごすのが好きです。



### すずかけ第2作業所 5グループ所属

余暇活動をメインとしたグループで、カラオケ、風船バレー、ウォーキングなど利用者さんの様々な活動をサポートしている。

- A1 分からないこともまだまだ沢山ありますが、毎日やりがいを感じながら楽しく勤務しています。大変なことも多いですが、日々色々な学びを得ています。



### すずかけ労働センター所属

マンション・ワンルーム巡回清掃、除草作業、自転車のパラシ・磨きを利用者さんと一緒に行っている。

- A1 思っていた以上に難しい仕事で日々大変なこともあります。利用者さんとたくさん関われば関わるほど新しい発見、気付きもあります。自分を大きく成長させる場でもあると感じています。

A2 利用者さんから「長谷川さんと一緒に外食行こ」と誘われた時、すごく嬉しかったです。自転車のパラシが中々出来なくて困っていた時に、利用者さんに協力してもらい、利用者さんの手際の良さに驚きました。

A3 専門的な知識を積極的に学び、理解を深めていきたいです。利用者さんそれぞれに合った支援をしていき、自分も一緒に成長していきたいです。

A4 中学～大学と10年間陸上部（短距離）だったので、今も趣味で運動することと、YouTubeで陸上の動画を見ています。阪神タイガースのファンであり、テレビで阪神戦はいつも見ています。



### 上甲子園すずかけ作業所 菓子班所属

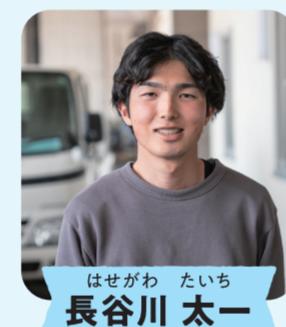
菓子の製造や販売、工房での利用者さんのサポートを行っている。

- A1 入職前は利用者さんとのコミュニケーションに対して不安がありました。利用者さんと一緒に働き、色々な話をするうちに少しずつ伝え方や、相手の言いたい事を理解できる様になってきました。今でもコミュニケーションの難しさはあるけれど、利用者さんにどう伝えるか、理解するかを考えるのは楽しいです。

A2 ある利用者が私の誕生日を覚えていてくれてプレゼントをくれました。当日は土曜日だったのでわざわざ金曜日に「誕生日おめでとう」と言ってプレゼントをくれました。とても嬉しかったです。

A3 今まで自分の事でいっぱいいっぱいでしたが、これからは周りを見て自分で考えながら支援ができるようになります。それぞれの利用者さんに合った関わり方を見つけて信頼関係を築いていけるように頑張ります！

A4 家の掃除、買い物に行って服や雑貨を買う。



### すずかけ作業所屋外班所属

鳥やヒーローを好んで描いた西村さんのインパクトのある絵には、くぎ付けとなる来場者が続出しました。「目が離せなくなる」と言って連日来られた方も。現在はもう絵を描いていない西村猛さんも期間中に一羊園から来場しました。

## すずかけの間 その9

3月にあとりえすずかけで新田隆作さんと西村猛さんの展覧会が開催されました。おふたりが長年すずかけ絵画クラブで描いてきた作品の中から選りすぐられた25点近くの作品が会場にかけられました。



すずかけ作業所屋外班の皆さんと来場してくれた新田さんは、少し照れくさそうにしながら自身の作品と会場で流れたドキュメンタリー映像をじっと観ていました。新田さんの作品は20年以上前に描いたものから、今年描いたものまで幅広く展示され、時とともに作風が変化してきた様子が分かる展示了となりました。



会場で武庫川すずかけ作業所時代に一緒にいた職員さんたちと再会し、時折笑顔を浮かべながら、昔のアルバムを眺め、当時のことを思い出している様でした。

## サニカム班の 野菜づくり



すずかけ作業所サニカム班では、庭の隙間やプランターを利用して野菜づくりが行われています。毎日、午後の活動は苗を植えたり、土づくりを行っていて、職員の皆さんも自分たちで知識を集めながら取り組んでいるそうです。自分たちで育てて収穫をして、美味しい夏野菜カレーを食べるのがこの夏の目標だそうです！

## つどい場さんびお

武庫川すずかけ作業所の1階にある交流スペースで、障害のある人のお母さん達が月に数回、カフェを開いておられます。

一般の方は200円、利用者さんは100円でドリンクの注文ができ、お菓子もたくさんついてきました。驚きの安さ！

さんびおさんは「障害のある子どもを育ててきた母たちが高齢になっても引きこもることなくお互いに見守り合える場。子育て世代や地域の人たちを含めて「障害」という共通項をベースに色々な立場の人達が出会い知り合える場所」として2024年9月にオープンしました。

カフェには、作業所とは別の入口から出入りができます。どなたでも注文しやすいように視覚的に分かりやすくメニューが用意されているのもおすすめポイント。すずかけ第2作業所など、他事業所の利用者さん達も利用されているそうです。

オープン日時  
木曜日 13:30～16:00  
(第1木曜日を除く)  
場所  
武庫川すずかけ作業所1階

みなさんも是非！

